

おでかけお笑いマッチゲー 開催校・開催団体募集中!

おでかけお笑いマッチゲーは 「見る」職場体験!!

みんなでグッジョブ運動の一環として、「おでかけお笑いマッチゲー」を高校、大学、専門学校等で実施します。

演劇集団FECのメンバーが、仕事の理想と現実のギャップをわかりやすくコント上演し、働くことの意義を考えていただく内容となっています。

この機会にみんなで、雇用の現状、将来の仕事に対して考えてみませんか。

- ◆無料にてFECのメンバーがお伺いします。(上演数限定)
- ◆上演時間(目安) 60分
- ◆対象 県内高校、大学、専門学校等
- ◆申し込み、問合せ先
県産業政策課雇用創出戦略スタッフ室
☎098-866-2324
株サン・エージェンシー
☎098-862-3577

観光・情報通信産業 『フォーラム』&『合同企業説明会』

みんなでグッジョブ運動の一環として、沖縄県の重点産業である観光・リゾート産業及び情報通信関連産業における求人と求職者のミスマッチを解消し、雇用情勢の改善を図るため、関係機関・団体等と連携して下記のようなことに取り組んでいます。

- フォーラムの開催(9月~H22. 2月 計5回開催)
- 合同企業説明会(9月~H22. 2月 計5回開催)
- 見学バスツアー、個別就職相談、面接会の実施

- ◆問合せ先 (財)雇用開発推進機構
詳細は <http://www.empact.or.jp>
☎098-859-6140

おきなわ技能フェスティバル2009

おきなわ技能フェスティバルが今年も開催されます。

同フェスティバルは、技能労働者の技能の向上と技能に対する社会一般の認識を深め、本県の経済産業、観光振興並びに技能尊重気運の醸成を図ることを目的として開催する『職人』による技能イベントです。

- ◇日時 10月18日(日) 10:15~16:00
- ◇会場 那覇地域職業訓練センター(波之上ゴルフレンジ隣り)
- ◇技能展 技能士会等の活動紹介、作品展示、実演、即売、ものづくり体験コーナー
- ◇競技大会 第23回沖縄県調理技能競技大会
◎日本料理部門 ◎西洋料理部門
◎水彫刻部門 ◎洋菓子部門

Q 仕事の苦労ややりがいとは?

分厚い防火服を着用しての訓練は脱水症状になりそうなほど

点検もすべて兼任。午後は消火訓練や救助訓練、避難訓練の立ち会い他、道路事象調査で最新の道路状態や消火栓の状況調査、確認などを実施。夜間は交代で仮眠を取り、緊急時に備えて朝まで泊り込みで待機します。



不安や恐怖はもちろんある。そのための訓練です。

Q 職場の人間関係を円滑にする秘訣は?

チームワークが大切なのでコミュニケーションを重視し、買出しなどの雑用は率先して引き受けています。一人の油断が全体のミスにつながるため、現場を想定した訓練を毎日行って作業を徹底。先輩の現場での働きはいつもの確で素早く、尊敬しています。

Q 同じ道をめざす人へ経験の中からアドバイスを!

専門学校などで公務員試験対策を万全にすること。一度のチャレンジで受かる人はまれなので、あきらめずに何度もチャレンジして! 消防士は命を守る現場で人間として成長できる素晴らしい仕事です!

Q 二歳上の兄が消防士になった影響が大きいですね。兄の話から「身体を張って人の命を救うカッコイイ仕事」というイメージがありました。実際は瞬時の判断や対処法の想定などですごく頭も使う仕事だと思います。

この仕事に就いたきっかけは? 二歳上の兄が消防士になった影響が大きいですね。兄の話から「身体を張って人の命を救うカッコイイ仕事」というイメージがありました。実際は瞬時の判断や対処法の想定などですごく頭も使う仕事だと思います。

Q 一日の平均的なスケジュールは?

午前九時から翌日午前九時までの二十四時間勤務で一日おきに交代。初めに、テストを兼ねた車両の無線交信、次に朝の体操や業務報告や申し送りなどを行う会議、車両の資機材を点検します。特殊災害対応隊は特殊災害車だけでなく、ポンプ車や工作車、はしご車の出動や



上司からもヒトコト



勤続6年目ですが、隊では一番の若手。明るく優秀な人材として今後も期待しています。

体育会系が多い署内でも、特に元気で明るい宮平はムードメーカー。訓練でも初心を忘れずに声を出し、真面目に取り組んでいます。この仕事は手先が器用で人の動きが読める人が向いており、救急救命士の資格を持っていると有利。宮平もいずれは救急隊や予防課、警防課などで経験を積み、さらに成長して欲しいですね。

那覇市消防本部中央消防署 特殊災害対応隊長 消防司令補 新垣努さん

仕事現場ウォッチング

興味のあるシゴトはあるけれど、その実態がよくわからない。やりがいや本音、現場の空気をもっと知りたい! そんな思いに応じてさまざまなシゴトをレポート! ヒントはいつも現場にありました!

●今月のシゴト・ターゲット 「公務員のシゴト(消防士)」

那覇市消防本部中央消防署 特殊災害対応隊 宮平 辰義さん(25歳)

消防士のシゴトとは

身体を張って人命を救う使命感のあるシゴト。日々のたゆまぬ訓練とさまざまな専門知識が求められます。

市民の生命や身体、財産を守るため、火災の鎮圧や人命救助、有毒ガスや劇薬など危険物質の流出事故の警戒活動、自然災害での防除活動、水難事故防止活動など、災害や事故への対応とその予防を含めた幅広い活動を行うのが仕事です。強靱な肉体と「社会の役に立ちたい」という強い信念が必要不可欠。また、専用車両や多くの機器類の扱いに熟練することが求められます。仕事の内容はハードですが、やりがいの大きい職種です。市職員採用候補者試験の消防職Ⅰ(上級・中級・初級)または消防職Ⅱ(救急救命士)に合格した後、基礎的教育訓練を実施する消防学校へ半年間通い、それぞれの部署へ配属されます。

PROFILE 宮平 辰義さん



1984年豊見城市出身。高校卒業後、那覇市職員採用候補者試験に合格。沖縄県消防学校で基礎的訓練を半年間学び、2003年中央消防署(現真和志出張所)消防隊に配属。2006年中央消防署の銘刃移転に伴い、異動。今年7月より中央消防署に設置された特殊災害対応隊に所属。勤続6年目。



人の命を救える本当に素晴らしい仕事です!

BC(生物剤・化学剤)テロ災害を含む毒劇物事故に迅速に対応することが任務。現場の状況に応じて、有毒ガスなどの検知器や解毒剤、酸素ボンベや防護服などを積んだHAZMAT(危険物対策)車、救助工作車などでの出動、専門機器を扱う技術や知識が必要とされます。過去の教訓を生かし、「もし那覇市でサリン事件が起こったら」と想定した対処法を学ぶ訓練なども行っています。

一日の平均的なスケジュールは? 午前九時から翌日午前九時までの二十四時間勤務で一日おきに交代。初めに、テストを兼ねた車両の無線交信、次に朝の体操や業務報告や申し送りなどを行う会議、車両の資機材を点検します。特殊災害対応隊は特殊災害車だけでなく、ポンプ車や工作車、はしご車の出動や

